北海道南幌高等学校だより　校訓「自主　自律」令和元年度［第９号］12月23日発行

南高不落

北海道南幌高等学校
空知郡南幌町元町3丁目2番1号
電話　011-378-2248　　ＦＡＸ　011-378-2629
http://www. nanporo. hokkaido-c. ed. jp

『春化（バーナリゼーション）』

校長　黒　田　　治

今年は皇太子殿下の天皇陛下御即位に伴い、元号も「平成」から「令和」へと時代が変わり、全国的に大きな節目の年となりました。日々の生活がこれまでと大きく変わったわけではありませんが、新たな時代への新たな一歩を日本中の人が期待と夢を込めて歩み出した「令和元年」でしたが、皆さんにとってはどんな「令和元年」だったでしょうか？何事も節目を良いきっかけにして、希望の持てる明るい未来を待つのではなく、自ら自分の未来を拓く良い機会にしたいものです。

学校ではこれまで事故や災害もなく、生徒たちは勉強や様々な行事に一生懸命に取り組んできました。特に１学期は1年生の入学式に始まり、宿泊研修や地域あげての学校祭、２学期の３年生の就職試験や進学受験、見学旅行や体育祭など様々な行事や活動がありましたが、生徒たちの日々の頑張りと保護者の皆様のあたたかい御理解と御協力のお陰で、2学期を無事に終了することができました。あらためまして感謝申し上げます。

さて、令和元年の流行語大賞はラグビーW杯日本大会での日本代表チームのスローガンである『One Team』でした。強い相手に向かっていく気迫や戦いぶりに多くの勇気や感動をもらいました。このスローガンは、4年前に国籍も所属も違うメンバーを心一つにして勝利に向かうチームを作るために生まれた言葉だそうです。そして、同じ目標に向かう仲間とスクラム組んで血のにじむような厳しい練習に耐え、努力した全員の強い思いが真の『One Team』となり栄光を得たのだと思います。それを思うと『One Team』という言葉を簡単に使うことができないほどの重みを感じます。何事も成果を上げるためには、目標達成への強い意志と厳しい環境を乗り越える覚悟が大きな喜びや達成感そして栄光を勝ち取ることができるのだと思います。また、同じ目標を持つ仲間やサポートしてくれる家族や良き理解者がついていることも忘れてはなりません。

高校理科の『生物』という科目の中で履修する用語で「春化(バーナリゼーション)」という現象があります。これは植物の成長過程において、一度厳しい低温の環境(寒冷刺激)を経験させるという負荷をかけることで、暖かくなった春に力強く成長し立派に花を咲かすことができるという現象で、暖かいムクムクした環境だけでは咲かないのです。身近な植物では秋まきコムギやダイコンなどがこれに相当します。厳しい環境での経験が次への成長スイッチとなり、大きな立派な花を咲かせ成熟した実を実らせるというこれらのメカニズムから、人の成長過程においても同じことが言えるように思います。辛く厳しい状況や困難な出来事があっても、努力しそれを乗り越えた先には、大輪の花を開花させて大きな実となり、きっと素晴らしい景色を見ることができるでしょう。

ある歌の歌詞に「♪涙の数だけ 強くなれるよ　アスファルトに咲く花のように‥♪」とあります。辛い事があっても努力次第で、きれいな花を咲かすことができるのです。

生徒の皆さんには、この冬休みを自分の「春化」させる大切な時期ととらえ、春に大輪の花を咲かせるよう辛いことにも挑戦する努力を惜しまないで欲しいと思います。

最後に、保護者の皆様には、令和元年もあと1週間ほどで終わろうとしておりますが、今年1年間、本校の教育活動に御理解と御協力及び御支援を賜り、本当にありがとうございました。新たな年を迎える令和2年も、これまでと同様に、変わらず御理解と御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

１月　行事予定

１月　１日（水）～３日（金）　学校閉庁日
　　１３日（月）　成人の日
　　１６日（木）　冬季休業終了
　　１７日（金）　３学期始業式
　　２０日（月）　進路希望調査（1，2年）
　　２１日（火）　働くルール講座（３年）
　　２４日（金）　英語検定
　　２７日（月）　２年進路相談週間（～ 31日）
　　２８日（火）　３年校歌練習
　　２９日（水）　３年学年末試験①（3年午前授業～31日）
　　３０日（木）　〃　②
　　３１日（金）　〃　③　家庭学習心得指導(3年)
　２月１日（土）　３年家庭学習期間（～27日）

将来の仕事は？　～進路別ガイダンス～

先日、１，２年生を対象に各分野の専門学校に来ていただいて、進路別ガイダンスを実施しました。コンピュータ、美容、ホテル、販売、調理、福祉の６分野の体験型授業を一人２コマを選び受講しました。生徒のアンケートから「講座を受けて、進路について考え直すきっかけになった」「実際に体験して仕事について少し理解できた」「 進路を決める上で重要な内容であった」 などの声がありました。

今回は職業を考える貴重な機会でした。この経験を無駄にせず自分の進路実現に向かって努力してほしいと思います。

進路決定状況　*進学・就職全員決定！*

本校３年生の進路決定状況です。（12月23日現在）

◎進学状況◎　進学希望者４名　合格者４名（専門学校４名）

合格先:青山建築デザイン医療事務専門学校（建築学科）、
北海道歯科技術専門学校（歯科技工士学科）
札幌科学技術専門学校（２級自動車整備士コース）
北海道立札幌高等技術専門学院（金属加工科）

◎就職状況◎　就職希望者７名　内定者７名

内定先:東武緑地株式会社札幌東武ホテル、トップワーク株式会社
株式会社H&S Co,Ltd、株式会社トッキュウ、丹野工業株式会社
株式会社ワイワイ居宅介護事業所グラッシャス

南幌養護学校との交流会

12月６日（金）南幌養護学校との交流会が行われ、生徒４名が参加し、餅つき大会のイベントを行いました。学校祭やキャベッジマラソンでも養護学校の生徒の皆さんと交流がありますが、今後も町内の同じ道立学校として交流を続けていきたいと思います。

２０１９年を振り返って

"Society5.0の社会がもう始まった！？"　　**教務部長　佐　藤　寿　成**

Society5.0は日本が提唱する未来社会のコンセプトです。仮想空間と現実空間を高度に融合させた社会の到来です。これにより、経済発展と社会的課題の解決を両立することができ、より便利な社会になるというのです。例えば、自動運転の発展により無人の車の道路走行、AIロボットによる介護や生活のお手伝い、スマート農業と呼ばれるAIやロボットを活用した超省力・高品質生産、コンビニなどの無人店舗の増加が期待されています。AIやロボットにもできる単純労働や重労働などは積極的に置き換えられていくと言われています。その分、人間の「考える時間」が増加し、より創造性が求められる社会になるとのこと。答えのない問題に対して、最善といえる答えを見つけたり、みんなが一定の納得ができる解決方法を見いだしたりすることが求められます。

皆さんは人間だけができる高度な知能をフルに活用し、自分で考えながら生きて行くのです。基本的な知識の上に新たな価値を創造できるような大人に育ってほしいと願っています。先生方と共に学び続けましょう。そのために、まず3学期が始まる初日に皆さんが元気な顔で登校するのを待っています。

"42回目の冬休み"　　**生徒指導部長　長　尾　将　仁**

師走となり、教員として42回目の冬休みを迎えます。初任校は木造平屋で教室の暖も石炭ストーブでした。もちろん体育館も木造で今のように暖房はありません。冬の男子の体育の授業は外で雪中サッカーを私も生徒と一緒に「汗だく」になるほどしていました。毎日、汗で下着は2～3枚は使っていました。田舎で「ヤンチャ」だけど逞しく人情にも厚く、部活動や学校生活を元気いっぱいに生き生きと送っている生徒達ばかりでした。

南幌高校の生徒は素直で従順です。非行や不良行為はまず起こさないので生徒指導部としては、他校のように停学指導とか問題行動に対する指導はほとんどありません。しかし、自分で「考える力」や困難なことに対して「立ち向かう力」に欠けている生徒も多いです。生徒指導は規範意識や一般常識を高めることも重要ですが、それ以上に「生きる力」や「大きな志」を一人一人の生徒が持ってくれることが大切だと考えています。そのためには高校生の生徒が周りの大人とたくさん話すこと。いろいろなことを言葉や体で教えてもらうこと。彼等に親や教師がどのような背中を見せるかが勝負です。それが社会に出て活躍することにつながります。そのためには自分の頭で考えて行動や表現できる工夫と努力が不可欠です。子供達の未来の可能性は無限です。それを信じて一緒に「汗だく」になりましょう。

"新しい時代を振り返って"　　**進路指導部長　川　上　美知代**

今年の進路活動につきましては保護者の皆様のご理解とご支援により、無事実施することが出来ました。3年生は、今年で全員の進路が決定し、教職員共々大変喜んでいるところですが、まだスタート地点に立ったばかりです。もう一度気を引き締め、進学者は進学後の学習に向け、就職内定者は社会人としての自覚を持って、生活してほしいと思います。

今年1年多くの進路行事やPTA活動で大変お世話になりました。そして、2年生と1年生についてはこれからが大事な時期となりますので、今後ともご協力をお願いいたします。